中学男子	棒高跳	決勝	記録表
	755 IBI 10713	1 / 1777	THE ANGLES

												片	学	男	ř	棒	高跳	ì	夬勝	:	記針	禄表											<u>P</u>	
																													審判	長	青	山 利	彦	
期日 令和	16年9月	28日 (日)	開始時刻	[9:30 終]	7時刻	9:45							_																J T	0	雲	下 孝	ž	
陸協名	南市陸	協	コード			競技	会名:	第94[	回大	東陸上	:競技	支大会	Š								-	コード	2	5 3	2 1	1 5	0		記録	主 任	<u>=</u> .	島神	<u>5—</u>	
主催団体名	」 雲南	市陸協				競技	場名:	大東。	ふれ	あい運	動場	司									Ę	コード	3	2 3	1 1	0			記録担当	審判員	雲	下考	<u></u>	
PV 支柱移動	試技順	ナンバー	競技者名	(生年)	都所属	道 府	県 名学 年	2m	00	2m20	) [ ;	2m40	2	m60	2m	80	2m9	試技 0	支 3m00	3m	10	3m20	3	m30	3m4	0	3m50	最高記錄	無数試技数	順位	得	点	備	考
	1	3118	柿木	大和	大頁	島根 東中学校	交 2年	0		0	Х	x 2	X															2m20		1				
	2																																	
	3																																	
	4																																	
	5																																	
	6																																	
	7																																	
	8																																	
	9																																	
	10																																	
	11																																	
	12																																	
	13																																	
	14																																	
	15																																	
	16																																	
	17																														7			·

## 審判長記入欄

18 19 20

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(有効試技…0、 無効試技…×、 失格…DQ、 欠場…DNS、 パス…-、 試技放棄…r、

注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)

注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。 例)2005年生まれ → (注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は H1~3 (High school)、中学生は J1~3 (Junior high school)で記入する。 注5:TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には( )をつけ、備考欄にPを記入する( 例:2m00の2回目に抗議があった場合は「2m00の 3回目よりP」 )。 競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。 記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。

記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。 (JAAF-13, 2024/4)

一般男子	棒高跳	決勝	記録表
一般另士	悸向跳	伏胺	記数表表

審 判 長 青山 和彦 T 〇 雲下 孝 期日 令和6年9月28日(日) 開始時刻 9:30 終了時刻 10:40 コード 2 5 3 2 1 1 5 0 コード 競技会名:第94回大東陸上競技大会 記録主任 三島 祐一 陸協名 雲南市陸協 コード 323110 記録担当審判員 雲下 孝 競技場名:大東ふれあい運動場 主催団体名 雲南市陸協 試技 都 道 府 県 無 効 順位 得 試技数 試技順 ナンバー 競技者名(生年) 点備 所属 · 学年 支柱移動 3m80 4m10 4m30 島根 1 1271 小村 俊介 4m10  $X \mid X \mid X$ 島根棒高跳クラブ 鳥根 2 NM 川西 翔太 1272 島根棒高跳クラブ 3 4 5 6 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

## 審判長記入欄

20

注1: 試技結果が次の場合、該当する日本語表記、または略号を記入欄に記入する。(有効試技…0、 無効試技…×、 失格…DQ、 欠場…DNS、 パス…-、 試技放棄…r、 記録なし…NM )

注2: 日本新記録、大会新記録などは備考欄を利用して記入する。日本新記録・日本タイ記録は、3名のフィールド審判員が計測する必要がある。(CR31.17.1)

注3: (生年)は生まれた年(西暦)の下2桁を記入する。 例) 2005年生まれ  $\rightarrow$  (注4: 学年は中高一貫校及びクラブチームの場合、高校生は  $H1^*3$  (High school)、中学生は  $J1^*3$  (Junior high school)で記入する。

注5: TR8.5を適用している競技会で、抗議中の競技があった場合は、抗議の対象になった試技の記録には()をつけ、備考欄にPを記入する(例:2m00の2回目に抗議があった場合は「2m00の3回目よりP」)。 競技終了後、記録担当者が必要事項を記入したものをコピーをする。 記録主任または審判長がコピーしたものに必要があれば赤字で記録・順位等の訂正をし、審判長は審判長記入欄に裁定結果を赤字で記入する。

記録主任・審判長は赤字でサインの上、原本と一緒に保管する。 (JAAF-13, 2024/4)